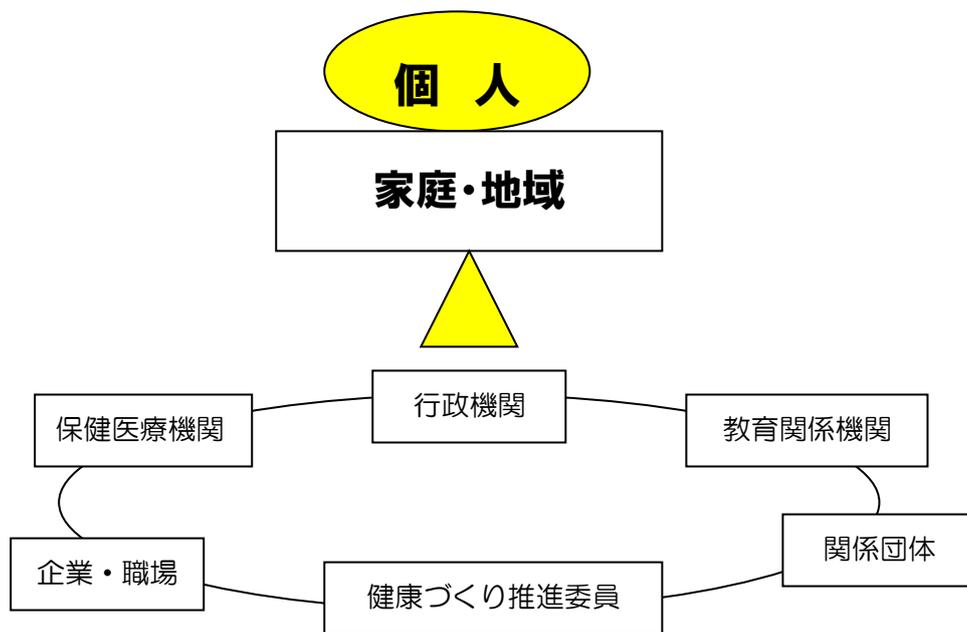


第4章 目標達成に向けた計画の進め方

1 計画の推進体制

町民一人ひとりの健康づくりを効果的に進めるためには、個人の自覚に加え、行政をはじめ関係機関などが一体となって、健康づくりのための環境整備を進めることが大切です。そのために、町民・自治会・保健医療機関・学校・職場・行政などの各主体が、それぞれの役割を果たしながら連携協力しあって、健康づくり運動を推進します。



(1) 個人・家族における取組み

町民一人ひとりが健康の大切さを知り、自ら主体的に健康づくりを実践していくことが基本です。家族や周囲の協力を得ながら、できることから、楽しく、健康づくりを継続できるよう努力します。

(2) 地域における取組み

地域は、町民が身近なところで健康づくりをしていく上で重要な基盤です。仲間づくりを進めると共に、各地区の組織活動や同じ目的をもったサークルやグループによる、地域の実情にあった活動を展開します。また、相互の情報交換などを通じて、ネットワークづくりを進めます。

(3) 学校における取組み

学校教育は、その後の生活習慣に大きな影響を及ぼすことから、健康教育などの適切な働きかけによって、自己の健康管理能力の基礎を築くことが期待されます。そのために、①児童・生徒の朝食の欠食状況や肥満・やせ傾向などを踏まえ、望ましい食・運動習慣を身に付けるための施策の充実、②自己肯定感や思いやりの心を育む思春期教育③氾濫するネット情報や悪事への勧誘に対する自己防衛能力の向上④喫煙・薬物防止教育の徹底などに取組みます。

(4) 職場(事業所等)の取組み

職場(事業所等)は、そこに働く人々がいきいきと働ける環境づくりのため、定期的な健康診断や、その結果に基づく体や心に関する健康づくりの事業の推進が必要です。そのために、事業者と連携して、健康相談、健康教育の機会を作ります。

(5) 関係機関等の取組み

保健医療の専門家(医師、歯科医師、保健師、看護師、栄養士等)やそれらの関係団体は、健康に関する情報や技術を提供することが求められます。

特に一次予防の観点から、専門的な相談や情報提供等を行い、町民が健康づくりの行動を主体的に起こせるよう様々な対策の推進に協力します。

(6) 行政の取組み

町は、重点健康課題を中心に、地域の実情に応じた健康づくりを進めます。そのために、国や道等の行政機関や関係団体をはじめ、職場や学校などと積極的に連携し、健康情報の共有化を図るとともに、健康相談や健康教育、健康診断など、健康の保持増進や疾病の早期発見・早期治療に関する事業を積極的に実施します。そしてその状況や結果を積極的に町民に周知します。また、地域における健康づくりを推進する人材の育成や活用、組織活動の推進時に自らも常にスキルアップに務めます。

2 計画の進行管理と評価

本計画は5年を目途に中間評価、また平成36年度を最終目標年度として、町民の健康状態の変化を業務実績や実態調査、各種統計資料等に基づいて評価します。

この計画が町の現状を反映し、だれもが活用しやすいものであるために、項目によっては年1回からの評価や、状況に合わせた内容の見直しを行い、あらゆる機会を通じて町民へのフィードバックをしていきながら、町民主体の健康づくりの推進を図ります。

(1) 進行管理

この計画を推進するため、推進検討部会を設置し、1～2年単位での評価や事業の検討、状況に合わせた見直しを行います。

(2) 健康づくり推進委員会による評価

各自治会からの選出による「健康づくり推進委員」が、本計画の推進組織としての役割をもつと共に、計画に盛り込まれた施策の進捗状況や評価指標による評価を行ない、その結果を今後の健康づくりの推進に活用します。

(3) 健診における生活習慣などの変化を把握する評価

この計画で掲げた生活習慣等の評価指標の変化を、健診受診者を中心としたアンケートや問診項目などを基に、分析し評価を行います。

(4) 統計資料からの評価

人口動態統計や各種保健事業報告等により、町民の健康状況の分析と評価を行います。

3 「元気でしかが21」（第二次）評価指標一覧

分野	主な指標	区分	H36年度 目 標	現 状		
				弟子屈	全道	全国
1 食育・栄養・食生活	①朝食の欠食割合	小学生	10%以下	17.0%	14.1%	
		中学生	10%以下	22.0%	18.0%	
		高校生	15%以下	25.0%		
		成人男性	15%以下	25.8%	11.2%	
		成人女性	10%以下	17.2%	7.6%	
	②1日1回は家族と一緒に食事を摂る人の割合	町民	50%以上	—		
	③1日2回以上主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を摂る人の割合	検診受診者	60%以上	—		63.3%
	④地場産品を知る人の割合	小学生	70%以上	49.0%		
		中学生		63.0%		
		高校生		50.0%		
成人		90%以上	78.9%			
⑤学校給食での地場産野菜の使用割合	学校給食	増加	24.6%		26.1%	
⑥食育に関心を持つ人	成人	90%以上	81.0%			
⑦野菜を1日3食に食べる人の割合	こども	50%以上	—			
	成人	40%以上	19.8%			
⑧牛乳・乳製品を毎日摂る人の割合	1歳半児	60%以上	36.4%			
	3歳児		49.1%			
	小学生以上の町民		50.4%			
2 運動・身体活動	①40～64歳の「1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上1年以上継続していない」割合	検診受診者(男性)	減少	71.7%	72.3%	70.1%
		検診受診者(女性)	減少	70.6%	74.3%	72.4%
	②65歳以上の「日常生活において歩行または同等の運動を1日1時間以上実施していない」割合	検診受診者(男性)	減少	49.4%	45.6%	41.9%
		検診受診者(女性)	減少	61.1%	63.0%	44.0%
③転ばん教室や介護予防サークルの参加数	延べ人数	増加	2,051名			
④サポーター(ふまねっと、がんバルーン)数	延べ人数	増加	延べ50名			
3 こころの健康	①自殺者数	人口10万対	減少	36.4%	23.9%	22.9%
	②睡眠で休養が十分に取れていない人の割合	検診受診者	減少	21.5%	19.0%	22.3%
	③自殺予防ゲートキーパー養成講座の参加者数	実人数	増加	20人		

分野	主な指標	区分	H36年度 目標	現 状		
				弟子屈	全道	全国
4 アルコール	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(純アルコール量)	男(40g/日以上)	減少	11.6%	20.8%	15.3%
		女(20g/日以上)	減少	5.8%	9.6%	7.5%
	②妊婦の飲酒率(H23～H25の平均)	妊婦	0%	3.4%	2.0%	3.9%
5 たばこ・COPD	①40歳以上の喫煙率	男	15%以下	23.0%	27.6%	25.4%
		女	5%以下	6.7%	9.7%	5.5%
	②喫煙率	妊婦	0%	11.9%	8.6%	/
		産婦	0%	11.9%		
		産前家族	20%以下	42.4%		
	産後家族	20%以下	34.5%			
6 歯・口腔	①う歯のない幼児の割合	3歳児	75%以上	73.6%	80.9%	
	②DMFT指数	中学1年生	2以下	2.6		1.05
	③う歯未処置率	中学1年生	30%以下	40.3%		18.1%
		高校1年生	30%以下	36.2%		21.7%
	④50・60歳代で24本以上有する割合	弟子屈町 50・60歳代	45%以上	33.0%		64.7%
⑤年に1回歯科検診している人の割合	検診受診者	40%以上	25.1%		10.4%	
7 生活習慣病	①BMI25以上の割合	男	28%以下	42.6%	35.2%	
		女	24%以下	27.1%	23.6%	
	②正常高値血圧(収縮期130mm/Hg、拡張期85mm/Hg)以上の割合	男収縮期	44%以下	51.1%	49.4%	
		男拡張期	20%以下	27.4%	24.2%	
		女収縮期	47%以下	53.3%	45.4%	
		女拡張期	15%以下	22.5%	15.5%	
	③LDLコレステロール120mg/dl以上の割合	男	37%以下	48.9%	49.5%	
女		47%以下	62.5%	57.7%		
④HbA1c高値の割合	5.6%以上	維持減少	69.0%	54.5%		
	6.5%以上	減少	9.5%	-		
⑤75歳未満の新規人工透析患者数(5年間累計)	透析患者	減少維持	7人	-	-	
8 がん	①がん検診受診率 (H24の数値)	胃がん	40%	20.3%	9.9%	9.0%
		肺がん	40%	24.9%	10.9%	17.3%
		大腸がん	40%	24.1%	15.0%	18.7%
		乳がん	50%	23.1%	27.3%	17.4%
		子宮がん	50%	20.6%	23.0%	23.5%
	②精密検査受診率	胃がん	100%	83.3%		80.5%
		肺がん	100%	87.5%		77.9%
		大腸がん	100%	72.9%		63.0%
		乳がん	100%	68.4%		68.0%
		子宮がん	100%	100%		84.4%

4 「元気でしかが21」（第二次）評価方法等一覧

分野	主な指標	区分	評価		
			方法	頻度	
1 食育・栄養・食生活	①朝食の欠食割合	小・中学生	教育委員会資料、アンケート口	2年ごと。 アンケートは5年ごと	
		高校生	アンケート		
		成人	特定健診問診票		
	②1日1回は家族と一緒に食事を摂る人の割合	小学生以上	検診受診者	アンケート	5年ごと
	③1日2回以上主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を摂る人の割合				
	④地場産品を知る人の割合	小学生以上			
	⑤学校給食での地場産野菜の使用割合	学校給食	学校給食センター食品仕入帳(金額ベースの購入割合)。(ジャガイモ、タマネギ、シイタケ、ニンジン、キュウリ、ゴボウなど)	年1回	
	⑥食育に関心を持つ人	成人	アンケート	5年ごと	
⑦野菜を1日3食に食べる人の割合	小学生以上				
⑧牛乳・乳製品を毎日摂る人の割合	1歳半・3歳児	保健事業・地域支援事業実績	年1回		
	小学生以上	アンケート	5年ごと		
2 運動・身体活動	①40～64歳の「1日30分以上軽く汗をかく運動を週2回以上1年以上継続していない」割合	検診受診者(男性・女性)	KDB	年1回	
	②65歳以上の「日常生活において歩行または同等の運動を1日1時間以上実施していない」割合				
	③転ばん教室や介護予防サークルの参加数	延べ人数	保健事業・地域支援事業実績	5年ごと	
	④サポーター(ふまねっと、がんバルーン)数	延べ人数	保健事業・地域支援事業実績		
3 休養・こころの健康	①自殺者数	人口10万対	釧路・根室地域保健情報年報	年1回	
	②睡眠で休養が十分に取れていない人の割合	検診受診者	KDB		
	③自殺予防ゲートキーパー養成講座の参加者数	実人数	研修参加者数		
4 飲酒	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合(純アルコール量)	男(40g/日以上)	特定健診問診票 男性(毎日2合以上飲む人)	5年ごと	
		女(20g/日以上)	女性(毎日1合以上飲む人)		
	②妊婦の飲酒率	妊婦	母子手帳交付時アンケート	年1回	
5 たばこ・COPD	①40歳以上の喫煙率	男性	特定健診受診者問診票	5年ごと	
		女性			
	②喫煙率	妊婦	保健事業・地域支援事業実績 (母子手帳交付時アンケート、子育てアンケート)	年1回	
		産婦			
産前後家族					

分野	主な指標	区分	評価	
			方法	頻度
6 歯・口腔	①う歯のない幼児の割合	3歳児	保健事業・地域支援事業実績 =う歯のなかった子/3歳児歯科検診受診者	年1回
	②DMFT指数	中学1年生	教育委員会資料 =(未処置歯+処置歯+喪失歯)/中学1年生 歯科検診人数	
	③う歯未処置率	中学1年生 高校1年生	=未処置歯が1本でもある子/学校歯科検診 受診人数	
	④50・60歳代で24本以上有する割合	弟子屈町 50・60歳代	総合健診時アンケート =24本以上歯を有する人/50歳60歳のアン ケート回答者	5年ごと
	⑤年に1回歯科検診している人の割合	検診受診者	総合健診時アンケート =定期検診を受診している人/アンケート回 答者	
7 生活習慣病	①BMI25以上の割合	男性・女性	市町村国保における特定健診結果状況 報告書 =40～74歳の有所見者(保健指導域以上) /受診者数	年1回
	②正常高値血圧(収縮期130mm/Hg、 拡張期85mm/Hg)以上の割合	収縮期 拡張期		
	③LDLコレステロール120mg/dl以上 の割合	男性・女性		
	④HbA1c高値の割合	5.6%,6.5%以上		
	⑤75歳未満の新規人工透析患者数 (5年間累計)	透析患者	弟子屈町人工透析患者一覧 =過去5年の新規人工透析患者数	年1回
8 がん	①がん検診受診率	全がん	保健事業・地域支援事業実績 =各検診受診者数/(40歳以上の市町村人 口-40歳以上の就業者数+農林水産業 従事者-要介護4・5の認定者) ※乳・子宮がんにおいては、検診受診者数を[今年 度受診者数+前年度受診者数-2年連続受診者数] とする ※自治体担当者のためのがん検診精度管理マ ニュアル	年1回
	②精密検査受診率	全がん	保健事業・地域支援事業実績	年1回